

令和8年竹田市教育委員会第8回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和8年8月5日（水）午後2時55分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	佐藤 健吾
2 番委員	進 みづほ
3 番委員	吉野 聖子
4 番委員（教育長職務代理者）	岡 茂樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	廣瀬 恵三
学校教育課長	渡部公比古
社会教育課長	橋本 一彦
文化財課長	真田 博幸
歴史文化館長	櫟浦 幸徳
竹田学校給食共同調理場長	藤原みどり
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第7回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第40号	令和8年度竹田市教育費予算（9月補正）について
議題第41号	令和8年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について
議題第42号	令和9年度使用教科用図書の採択について
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項

幼稚園・小学校の運動会について
竹田市教育長・教育委員学校訪問について
 - (7) 連絡事項

(1) 8月幼・小・中行事予定表
(2) 8月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 2 時 55 分〕

廣瀬教育総務課長	委員の出席状況を報告します。教育長及び委員 4 名が出席されております。傍聴者はありません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから令和 8 年第 8 回定例会を開会します。第 7 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等ありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	7 月の教育長報告です。3 日、教育委員会定例会。7 日、地域共生社会実現会議、男子卓球、野球の国際大会等出場報告。9 日、解放文化祭実行委員会。10 日、豊岡小の交通安全こども自転車全国大会の出場報告。11 日、社会を明るくする運動市民大会。14 日、校長・所長会議、学校支援センター運営協議会。17 日、竹田市青少年市民育成会議。20 日、子ども読書サミット in 竹田。23 日～24 日、九州地区文化財保存整備協議会役員会。24 日、名水マラソン大会実行委員会。27 日、社会教育委員会、公民館運営審議会、野球の九州大会出場報告会。28 日、健康づくり推進協議会。29 日、定例課長会議、学校給食運営審議会。30 日、陸上、女子バレーの九州大会出場報告。8 月 3 日、要保護児童対策地域協議会代表者会議。5 日、教育委員会定例会、以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは、次に移ります。本日の審議案件は 3 件です。初めに議題第 40 号「令和 8 年度竹田市教育費予算 9 月補正要求書について」です。各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは教育総務課長をお願いします。
廣瀬教育総務課長	教育総務課です。歳入では教育費寄附金に 300 千円を計上しています。個人の方から寄付の申し出がありました。歳出です。2-1-9 基金費に 206 千円を計上しています。これは寄付金 300 千円のうち 206 千円を来年度実施する交流授業（学校教育課事業）に充当するため基金に積み立てるものです。残りの 94 千円は後ほど歳出に出てきます。 次に 10-1-2 事務局費です。会議用のお茶代の不足により食糧費 15 千円、教員用タブレット端末管理ソフトの電算システム使用料 207 千円を要求しています。10-2-1 小学校管理諸費です。会計年度任用職員の費用弁償の不足のため 453 千円を増額要求。夜間警備等委託料 261 千円、防犯カメラ設置委託料 416 千円、工事請負費（久住小学校の空調機 13 台部品取替修繕）7,095 千円、同じく 10-

	2-1 スクールバス運行費、保険料（自賠責保険料の改定）4 千円、同じく 10-2-1 小学校管理諸費、備品購入費（久住小の会議用長机）94 千円は、寄付金を使用させていただくものです。10-3-1 中学校管理諸費では、期末勤勉手当（会計年度任用職員）240 千円、費用弁償（会計年度任用職員）44 千円、夜間警備等委託料 156 千円、防犯カメラ設置 250 千円を増額要求しています。同じく 10-3-1 スクールバス運行費、保険料（自賠責保険料の改定）5 千円を増額要求しています。10-4-1 幼稚園運営費については、費用弁償（会計年度任用職員）26 千円、防犯カメラ設置 84 千円を増額を要求しています。教育総務課の方からは以上でございます。
志賀教育長	渡部学校教育課長。
渡部学校教育課長	学校教育課です。3 ページをお願いします。 歳入については、教育費県補助金として 985 千円を充当しております。当初、野球と剣道が休日のみの活動予定でしたが、平日も活動できる体制が整ったので、部活動地域展開推進事業費補助金を増額しています。 歳出については会計年度任用職員の通勤手当改正による不足分を費用弁償として計上している以外に、10 款 2 項 1 目と 10 款 3 項 1 目の小中学校の保健体育費として、教職員の健康診断の単価値上げと人数変更による補正額を計上しています。10 款 3 項 2 目、部活動地域展開推進事業は先程歳入で申し上げた分の補正を計上しています。
志賀教育長	橋本社会教育課長。
橋本社会教育課長	社会教育課です。資料 4 ページをお開きください。 歳入ですが、14 款 1 項 6 目、教育使用料に、体育施設使用料の過年度分として 45 千円、16 款 3 項 7 目、教育費県委託金に「障害を通じた障がい者の学び支援事業」委託金として 300 千円、17 款 1 項 1 目の財産貸付収入に土地貸付料として 16 千円を計上しております。 歳出についてですが、10 款 5 項 3 目、公民館（分館）管理費ですが、当初 1 節. 報酬. 7 細節. 会計年度任用職員期末勤勉手当と誤って記載しておりました。申し訳ございません、正しくは、3. 職員手当、20. 会計年度任用職員期末手当として、新規採用の予定であった職員が継続採用となったため不足する 18 3 千円でございます。10. 修繕料として、都野公民館浄化槽ブローア取替修繕に、225 千円、12. 委託料として、姫岳分館の消防設備点検が必要となり 11 千円、計 419 千円。353 公民館（竹田）管理運営費に「障害を通じた障がい者の学び支援事業」実施に伴い、7. 報償費として、講師、協力者、随行者謝金 108 千円、活動用消耗品 67 千円、講師・協力者・随行者の 8. 旅費として 15 千円、活動用備品購入費として 17. 備品購入費 110 千円の計 300 千円。354 公民館運営事業費（荻支所）に、中会議室空調機器修繕料、1,734 千円、駐車場区画線設置工事として、14. 工事請負費 711 千円の計 2,445 千円。356 公民館運営事業費（久住支所）に、空調冷却塔給水配管取替 220 千円及び玄関通路屋根天窓 989 千円の計 1,209 千円。357 公民館運営事業費（直入支所）に公用車（軽トラック）空調修繕料 150 千円、合わせて 4,523 千円の計上を行うものです。 次に、10 款 5 項 13 目、事業番号 394 あ祖母学舎運営管理費ですが、ガス漏れ

	火災警報設備の不具合のため、修繕料 57 千円、和室のエアコン入替により工事請負費 480 千円、合わせて 537 千円を計上しております。次に、10 款 6 項 2 目についてですが、事業番号 397 総合運動公園運営管理費としてキュービクルの、修繕料 319 千円、402 体育施設管理費（直入支所分）として、会計年度任用職員の新規採用により不足が生じる、費用弁償（通勤手当）245 千円及びトイレの不具合による修繕料 141 千円、計 386 千円の、合わせて 705 千円。総額 5,765 千円の増額計上をしております。以上です。
志賀教育長	真田文化財課長。
真田文化財課長	6 ページをご覧ください。 歳入についてです。16 款 3 項 7 目「県営圃場整備関係発掘調査委託金」について、1,803 千円を減額いたします。これは、当初文化財専門員の人件費を県営圃場整備関係発掘調査事業で支出する予定としていましたが、同人件費を城下町遺跡発掘調査事業で支出することとなったため、当該事業費のうち県負担率にあたる 92.5%を減額するものです。 つづいて、歳出についてです。まず 10 款 5 項 8 目文化財保護費についてです。文化財保護事業諸費は、吉川家住宅の維持補修工事に必要な経費として、1,443 千円を増額いたします。補修内容は、雨漏りにより腐食が生じた倉庫の支柱補強と屋根の改修であり、国の登録有形文化財を適切に保存するために必要な措置として実施します。 次に文化財保存活用地域計画事業です。会計年度任用職員の通勤手当単価の変更に伴い、4 千円を増額します。 10 款 5 項 11 目発掘調査事業費についてです。まず、城下町遺跡埋蔵文化財発掘調査事業については、予算の組換えを行います。その内訳は、会計年度任用職員である文化財専門員 6 ヶ月分の報酬 1,181 千円・職員手当 458 千円・社会保険料等 281 千円・旅費（通勤手当）41 千円を増額を行います。また、陶磁器鑑定に係る報償費 32 千円、職員旅費 17 千円、報告書印刷のための印刷製本費 775 千円、遺物実測委託の委託料 1,136 千円を減額し、増額分に充当します。補正額は増額・減額ともに 1,960 千円で事業全体では増減はありません。 次に市内遺跡発掘調査事業です。会計年度任用職員の通勤手当単価の変更に伴い、会計年度任用職員の通勤手当として 5 千円を増額します。 最後に県営圃場整備関係発掘調査事業です。文化財専門員の 6 ヶ月分人件費を「城下町遺跡埋蔵文化財発掘調査事業」で支出することとしたため、当該事業では文化財専門員の 6 ヶ月分人件費にあたる会計年度任用職員の報酬 1,181 千円、職員手当 458 千円、社会保険料等 281 千円、通勤手当 30 千円、合計 1,950 千円を減額します。以上、文化財課の歳出の全体補正額は 498 千円の減額で要求しています。文化財課からは以上です。
志賀教育長	櫛浦歴史文化館長。
櫛浦歴史文化館長	歴史文化館です。7 ページ目をご覧ください。 歳入はございません。 歳出です。10 款 5 項 8 目、旧竹田荘管理費については、会計年度任用職員の費用弁償について通勤手当の改定に伴う増額です。10 款 5 項 12 目、歴史文化館運営管理費は、会計年度任用職員の通勤手当の改定に伴う増額と、備品購入費

	で資料の管理や閲覧に使用しているパソコン2台を買い替えることにしていたのですが、物価の高騰と、パソコンの仕様変更に伴う増額分を印刷製本費と使用料から組み替えて対応するものです。10款5項12目の歴史文化館学芸費の費用弁償増額についても会計年度任用職員の通勤手当の改定に伴うものです。以上です。
志賀教育長	藤原給食調理場長。
藤原給食調理場長	調理場です。8ページをご覧ください。 歳入はございません。 10款6項3目、学校給食共同調理場運営事業費の歳出ですが、費用弁償を通勤手当の単価変更により15千円、排水処理施設減速機の修繕費として1,199千円、閉場した久住学校給食共同調理場の集落排水使用料の精算分30千円を計上しています。以上です。
志賀教育長	図書館について廣瀬教育総務課長。
廣瀬教育総務課長 (図書館)	9ページ図書館です。10-5-7 図書館運営管理費は2,065千円の増額要求です。 内訳は、会計年度任用職員の手当690千円、防犯カメラを設置するための経費として設置手数料54千円、防犯カメラ、SDカード等の備品購入費72千円を計上しています。そのほか館内インターネット閲覧用端末3台の更新のための経費を計上しています。以上です。
志賀教育長	すべての説明が終わりましたので、質疑を受けます。まず、教育総務課について質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	次に学校教育課について質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	社会教育課について質疑等ありませんか。 佐藤委員。
佐藤委員	すいません。歳出の10款5項3目の訂正があった部分をもう1回ちょっと、お願いしたいんですが。
志賀教育長	社会教育課長。
橋本社会教育課長	はい。申し訳ありません。正しくは、3節の職員手当、細節が20です。項目については、変更はありません。会計年度任用職員期末勤勉手当のままということになります。よろしくお願いします。
志賀教育長 佐藤委員	よろしいですか。 はい。

志賀教育長	他にありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	文化財課について、質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	歴史文化館について、質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	学校給食調理場について質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	図書館について質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	ないようですので、議題第 40 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、議題第 41 号「令和 8 年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について」です。教育総務課長、説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	3 ページの方をお開きください。 議題第 41 号「令和 8 年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について」この案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、竹田市教育行政にかかる点検評価の報告書を作成するものであります。報告書はタブレットに保存しています。報告書の前半に点検評価の概要と教育委員会の運営・活動状況をまとめています。18 ページ以降が点検評価シートとなります。前年度、竹田市長期総合教育計画にもとづき取り組んだ主要施策を対象として各課が自己評価の形で点検・評価を行いました。現在、外部評価委員 2 名に対して、評価意見を依頼しているところです。意見が出されましたら評価・講評を掲載し、最終的に完成することとなります。来月 9 月の教育委員会定例会に最終版を提出いたします。その後、市議会 9 月定例会に提出、10 月には市のホームページに掲載をして公表する計画としております。委員の皆様には、質疑等ございましたら、次回定例会までの間に、事務局へお知らせいただければと考えております。以上です。
志賀教育長	報告書は、委員皆さんからいただいた意見と、外部評価委員の意見等を反映させた報告書に修正し、次回の定例会で承認をお願いしたいということです。今後、ご意見があれば、次回定例会までにお知らせをいただきたいと思います。

	本日、ご意見、質疑はありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは次に、議題第 42 号ですが、本議題は、教科用図書の採択に関する ことなので、非公開審議としたいと思いますが、それでよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは、竹田市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項の規定により、非公開と いたします。なお、進行の都合上、すべての協議が終了してから審議を行います。 次に移ります。報告事項はありません。協議事項について、教育総務課長、説 明をお願いします。
廣教育総務課長	協議事項につきましては 2 点です。 はじめに幼稚園・小学校運動会についてです。資料に、日程と教育委員会の出 席予定者（案）を載せております。詳細の開会時間や雨天時の対応等を書き加 えたものを、次回の 9 月定例会で再度提案いたします。なお、現時点で出席の 都合がつかない場合には、早目にお知らせいただければ調整をいたします。 次に学校訪問についてです。日程（案）を今月開催の校長・所長会議で提案し ます。学校の都合等により変更する場合は、調整のうえ、9 月定例会で再度提 案させていただきます。下段の 3. 留意点に書いてありますが、昼食は、午前 中最後の学校で給食をいただくこととしております。その他、内容の詳細につ いてはご確認をお願いいたします。協議事項については以上です。
志賀教育長	協議事項についてはよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	次に連絡事項です。初めに、「8 月の幼稚園、小学校、中学校の行事予定表」に ついては、学校教育課長、「教育委員会関係日程表、今後の主な予定」につい ては、教育総務課長、説明をお願いします。
渡部学校教育課長	8 月の行事予定になります。 もうすでに経過はしておりますが、3 日、各小中学校の児童会・生徒会の代表 が集まり意見交換等を行う子ども交流集会が開催されました。4 日、教育講演 会が行われております。4 日～6 日に九州中学校体育大会（陸上で参加）。ちな みに竹田市の生徒が所属している豊後大野市のソフトボールは 6 日～9 日福岡 で、大分市のバレーボールは 4 日～6 日鹿児島で開催されます。5 日と 6 日 は、各学校出校日にして平和について考える日としています。6 日、豊岡小が N コンに参加します。竹田幼稚園では夏祭りが行われます。10 日から 4 日間 TS H 竹田スクールホリデイを設定し、最大 9 日間の閉庁日で休暇取得促進を行っ ています。学校運営協議会の開催日は、18 日、白丹小。21 日、豊岡小・南部 小・直入小中。24 日、祖峰小・都野小・竹田中。25 日、竹田小・久住小。26 日、竹田南部中。31 日、城原小です。ちなみに荻小・緑中は 9 月 3 日です。

	最後に、2 学期の始業式は 28 日となっています。以上です。
廣瀬教育総務課長	続いて 8 月の教育委員会関係日程（予定）表です。3 ページの方をご覧ください。本日、教育委員会定例会。11 日、巡回ラジオ体操・みんなの体操会（白丹小学校）。12 日、竹田市表彰委員会。18 日、青少年育成事業講演会。19 日、人権を守る市民の集い。20 日～21 日、大分県市町村教育長協議会総会が竹田市で開催されます。25 日、校長・所長会議。28 日、地方創生推進会議合同検証会議。9 月 1 日、市議会第 3 回定例会本会議（開会）。2 日～3 日、岡城跡調査整備委員会。3 日、県民スポーツ大会の竹田市結団式。4 日、教育委員会第 9 回定例会です。 資料 1 ページに戻りまして（3）今後の主な予定です。9 月 4 日（金）の 15 時から教育委員会第 9 回定例会を本庁議室にて行います。10 月 5 日（月）の 15 時から教育委員会第 10 回定例会を同じく本庁議室にて開会予定です。以上でございます。
志賀教育長	質疑等ありませんか。連絡事項について、よろしいでしょうか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長お願いします。
廣瀬教育総務課長	教育総務課です。学校統合については、白丹小、城原小がそれぞれ統合、閉校記念式典等に向けた会議などを開催しています。記念誌や記念碑などの検討が行われているようです。こうしたなか、8 月 11 日に開催予定の巡回ラジオ体操については、白丹小学校の閉校記念事業ということで白丹小保護者の方からの企画により社会教育課の方でお世話をいただいて開催されることとなりました。また、スクールバスの試乗会などのご相談もいただいています。来年 4 月に向けてしっかりと準備をしていきたいと考えています。以上です。
志賀教育長	渡部学校教育課長。
渡部学校教育課長	学校教育課からは 2 点お願いします。 1 点目は 4 月に行われた、各種学力調査の結果についてお知らせいたします。資料の左側が昨年度の分、右側が本年度の結果となります。まず、全国平均を上回った教科（水色で塗られた箇所）の数を比較すると、昨年は 21 教科中 13 教科で 62%でしたが、本年度は 20 教科中 15 教科で 75%と伸びが見られます。しかしながら、どの学年も 100 人程度で、学年集団での振れ幅は大きくなりますので注意が必要だと感じています。そこで、テストの種類は異なりますが、同一集団の経年変化を見てみたいと思います。左と右のテスト名の帯の色が同じものが同一集団になります。今年の小学校 5 年生から中学校 2 年生はこの 1 年間で実力をつけていることが伺えます。特に大分県学力学習状況調査を受けた小 5 と中 2 は英語を除いてすべての教科で全国平均を上回っています。県の平均が下がる中で竹田市は伸びがありますので県全体を見ても上位に食い込んでいるのではないかという見立てをしています。 英語については残念ながら全国平均に届いていませんが、（県学調 -6.5→-5.

2→2.9→1.9→1.4) (全国学調-9.6→2.9) 着実に全国平均との差を縮めてきています。全国学力学習状況調査の英語は、タブレットで回答する CBT (Computer-Based Testing) で行われ、実施日も学校ごとに違うこともあり、従来の正答率だけでは単純に比較しにくい状況となっています。そこで問題の難易度等を考慮した評価指標として TOEIC でも用いられる IRT (Item Response Theory) スコアというものが導入されました。そのスコアでは、竹田市は全国平均には届きませんでしたが、大分県平均を上回っています。

生徒質問調査において「学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった」という項目に対して、全国平均を上回った学校は 60%、下回った学校は 30% で倍の開きがあります。また、「家庭学習の宿題として、どの程度、ICT 機器を使用して英語の音声を開いたり英語を話す練習をしていますか?」という質問に対して、全国平均を上回った学校は 80%、下回った学校は 40% でこちらも倍の開きがあります。当然のことながら言語の学習はどれだけ触れて使う場面があるかが大切だということがわかります。

この分析はあくまで全体の傾向でありますので、各学校の分析と児童生徒一人一人の分析を大切にしながら、今後も授業改善や「英語のまちたけた」の取組を継続して、学力向上を目指していきます。

資料には合わせて、数学と英語の全国の問題の一部抜粋を掲載しておりますのでご覧になってください。

2 点目は、学校運営協議会のご案内です。先ほど行事予定で日程を紹介しましたが、時間を記入した資料を載せています。定例会終了後にお聞きしますので、参加できる学校があれば教えてください。以上です。

志賀教育長

橋本社会教育課長。

橋本社会教育課長

社会教育課からは 5 点報告します

1 点目は 7 月 6 日から 8 日にかけて開催しました「第 50 回大分合同新聞社旗争奪ナイターソフトボール竹田市大会」についてです。各地域から 5 チームの参加があり、S T 松本だるまやが優勝しました。優勝及び準優勝チームに中央大会出場権が与えられますが、チームの都合により S T 松本だるまや及び直入タイタンズが出場します。

2 点目は、7 月 12 日に開催したスポーツ医科学研修講座についてです。この事業は大分県スポーツ協会の補助を受け、竹田市スポーツ協会主催事業として、大場整形外科オフィサーの川野達哉先生を講師に招きジュニア期の怪我の予防及びケガからの回復などを学ぶ講座として市内スポーツ少年団や地域認定クラブを対象に実施したものです。当日は地域の児童・生徒・指導者 56 名の出席がありました。今後も市内スポーツ少年団などの競技力向上に資する講座を実施する計画です。

3 点目は夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会についてです。教育委員の皆さまにもご案内しているところですが、白丹小学校閉校記念事業として 8 月 11 日 (山の日) 午前 6 時より白丹小学校グラウンドを会場に実施いたします。

4 点目は「竹田市青少年育成市民会議講演会」についてです。本事業は青少年健全育成事業の一環として、「正解のない時代を自分らしく生きるとは」をテーマに 8 月 18 日 (火) 14 時より、グランツたけた廉太郎ホールにおいて行います。講師には、オリックス時代 210 安打を達成したイチロー氏の専属打撃投手を務め、中学硬式野球チーム (宝塚ボーイズ) の結成後は、田中将大投手ら

超一流選手を指導、輩出し、24年間育成に尽力され、少年野球日本代表監督としても世界大会3連覇を果たしました。現在は「ベースボールスピリッツ」代表として一流選手たちの素顔や世界を制した指導法、個性を伸ばす極意を伝える講演活動を全国で展開中です。今回の講演会では「イチロー、田中将大との出会いを通じて～一流の習慣術～」と題してお話ししていただきます。教育委員の皆さまにもぜひ参加していただければと思います。

5点目は国際大会・全国大会及び西日本大会・九州大会出場報告についてです。7月7日に緑ヶ丘中学校3年生、後藤慧臣さんが、国際大会及び全国大会の出場報告に来られました。後藤さんは大分東リトルシニアに所属していますが、全国のリトルシニアに所属する総勢21,065名の中から18名の日本代表選手として選出され、九州地区から唯一の選出という快挙を成し遂げ、7月16日～19日にアメリカ合衆国イリノイ州クリスタルレイクで開催された「2026MCYSAサマーインターナショナル チャンピオンシップ」大会に出場し、当初準備されていなかった最優秀選手(MVP)を主催者判断により授与されました。なお7月31日から明治神宮球場で開催されている「エイジェックカップ

第54回日本リトルシニア選手権野球大会」にも九州代表として大分リトルシニアから出場しています。また同日、豊岡小学校6年生、森田稔侍さんが、所属する野津町うづまき卓球SCから大分県代表として、7月17日より長崎市で開催された「第31回全九州卓球選手権大会(小学生の部)及び24日から兵庫県神戸市で開催された、「全農杯2026年全国卓球選手権大会(ホープス・クラブ・バンビの部)」の出場報告に来られました。森田さんは大分県強化選手

(小学3～6年生の10名内の一人)としても選抜されています。7月10日には竹田南部小学校4年生、小代鷹希さんが、所属する三重柔道会より大分県代表として、熊本県山鹿市で7月11日から開催された、第44回九州少年柔道大会の出場報告に来られました。7月27日には緑ヶ丘中学校3年生、熊野汰平さんと尾崎宏地さんが西日本大会の出場報告に来られました。所属する大分西南リトルシニアから、8月6日より広島県で開催される「2026年度第16回西日本選手権野球大会」に出場されます。7月30日には8月4日から佐賀県で開催される「第48回九州中学校陸上競技大会」にTAKETA T&Fから出場される、緑ヶ丘中学校2年生、阿部壮汰さんと、竹田南部中学校2年生、吉住咲亜弥さんが九州大会の出場報告に来られました。阿部さんは男子2年100mに、吉住さんは女子2年800mにそれぞれ出場されます。同日、Vigore大分所属、緑ヶ丘中学校3年、高橋ほたるさん、直入中学校3年、阿南芽衣さん、竹田南部中学校1年、天野凜香さんが九州大会の出場報告に来られました。3名は8月4日から鹿児島県で開催されている「第59回九州中学校バレーボール競技大会」へ出場しています。またもう一組、三重ガールズソフトボールクラブ・佐伯ジュニア所属、竹田南部中学校2年、吉田幸夕さん、関珠希さん、関望桜さんが九州大会の出場報告に来られました。3名は8月6日から福岡市で開催される「第53回女子九州中学校ソフトボール競技大会」に出場されます。以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

文化財課から、キリシタン・南蛮文化重ね押しスタンプラリーについてお知らせします。県内には、戦国時代から江戸時代にかけての貴重なキリシタン・南蛮文化遺産が数多く残されていますが、十分に活用しきれていないという課題

があります。そこで現在、竹田市・大分市・津久見市・臼杵市・由布市・国東市の6市が協定を結び、連携を強化しながら、文化遺産の魅力発信や地域づくり、観光振興に取り組んでいます。この協定事業の一環として、皆様のお手元に配布しております「キリシタン・南蛮文化 重ねおしスタンプラリー」が、8月1日から開催されています。協定都市6市を巡り、各市の関連施設に設置されたスタンプを押していくと、「瓜生島伝説」をモチーフに、南蛮船から積み下ろしされる象や虎、孔雀などが描かれた『南蛮渡来物語』の絵が完成する仕組みです。キリシタン・南蛮文化の普及と観光振興を目的とした企画となっています。スタンプをすべて集めた先着200名には、ラバーコースターキーホルダーを進呈します。さらにWチャンスとして、6名に各市の特産品詰め合わせが当たる企画も実施しています。期間は12月25日までと、約5か月間ございます。委員の皆様も、各市を訪問された際には、ぜひスタンプラリーにご参加下さい。詳細はチラシをご覧ください。

熊本地震での被災状況について、簡単にご説明させていただきます。岡城跡の駐車場の北側で、大きなもので3mを超える落石が複数ありました。落石の危険性があるため通行禁止としていた場所であるため、観覧に影響はありませんが、国・県と今後の対応について協議し、早急な撤去を考えています。

また先ほどご説明しましたキリシタン南蛮文化の協定事業の一環として、大分子子供親善大使ということで県内6市の小中学生が、7月28日から2泊3日で、熊本天草地方を訪れていました。そこに行って現地の中学生と交流したり、研修することとなっていました。竹田市からも、6年生が1名参加しておりました。到着直後に、地震が発生して当初と連絡が取れなかったんですけども、連絡取れまして、無事ということで、すべての予定を繰り上げて翌日には、怪我等もなく、元気に帰ってきたことを報告いたします。以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館長

櫛浦歴史文化館長

歴史文化館です。

現在開催中の「前田亮二・松浦孝作品展」が8月23日の（日）に終了しますので、8月29日から始まる次の展覧会の準備を行っています。次回の展覧会は、今年が昭和100周年で、藩校由学館ができて250年という竹田の教育にとって記念の年になりますので市内の昭和の小中学校に関する展覧会を計画しています。懐かしい学校の記念写真や教材等を展示する予定にしております。また、8月24日から展示替えの作業に入るわけですが、その期間中に博物館学芸員の資格取得を目的とした実習生1名の受入を行います。24日から29日までの間で資料の展示実習や資料の保存管理、情報発信・教育活動の状況等を通して博物館活動の実態を学んでもらいたいと思っています。

それと、9月なのですが8日の火曜日に南部中学校2年生の1名が職場体験に来てくれる予定になっています。1日だけなので、多くのことは体験してもらえないのですが、博物館等に興味を持つきっかけになればと思っています。以上です。

志賀教育長

藤原給食調理場長。

藤原給食調理場長

調理場からご報告です。

7月23日に開催しました親子料理教室は、12組27名の親子に参加いただきま

	した。料理教室終了後のアンケートでは、竹田市で有名な食べ物を知っていますか？という質問に対して、1位がカボス、2位サフラン、3位とうもろこしでした。毎月1回のサフランごはんを給食として提供しているため児童には印象に残ったと思われます。以上です。
志賀教育長	図書館について、廣瀬教育総務課長。
廣瀬教育総務課長 (図書館)	図書館からは、報告事項等ありません。
志賀教育長	ご意見ご質問等ありませんか。
岡委員	岡委員。
	先ほどの学力テストの結果についてですが、課長から英語のことについていろいろ分析化していただいて参考になりました。ただ、今年の中2年生の成績をみると、学力自体すごく高いような気がしています。その中で英語だけが全国の平均を下回ってしまっているというのは、おそらく何かの原因があるなという気がしています。今、小学校5、6年生の段階で英語がかなり始まっていて、単語数を含めて、中学に上がる段階である程度のレベルを求められてしまっている気がします。分析する際の一つの見方として、スタートラインで、ある程度そういう差があるのかどうかということ、その辺、先生方の分析を待ちたいと思います。他の教科のレベルが高いだけに、その辺の影響がどうかと思います。以上です。
志賀教育長	学校教育課長。
渡部学校教育課長	はい。ありがとうございます。 中2年生全教科にわたって点数が高くて、集団として、レベルが高いのではないかということはありませんでしたが、実はこれより前、遡ってみると、やはり振るっていない学年の時代がありました。ということは、諦めずに、地道に、子どもたちが学びを続ける中で、どんどん力をつけてきたというのは1つ、竹田の子どもの誇れるところかなと思っています。そうした中でも、英語がなかなかクリアできないというのは、以前も言いましたようにこれは竹田に限らず、もう大分県がどうしても全国と比べて低い状況にあります。どうしても先ほど言ったように、英語に触れる機会、学校の授業以外で触れる機会が、都会の方では、塾や英会話教室、或いはもう友達の中に外国籍の子がいるとかですね、いろんな環境もある中で、先ほど申した質問にあるように、やはり使う、或いは聞く機会が少ないというのは大きいかなと思います。そうした中で、市でも、英会話教室や、英検の取り組みということで、何とかしたいなというふうに頑張っているんですが、もう1つは、学習用のタブレットに、話す、聞くの両方ができるアプリを入れていますので、それをもう的確に使っていくっていうのも1つ手かなと考えているので、英語部会と話をしながら、まずは使ってみるっていうところからスタートしたいなと思っております。英語については教育長の方が詳しい面がありますので。
志賀教育長	英語については、予からの弱点でありました。大分県としましても、英語が弱点になっていますが、竹田市は、全国平均、それから県平均よりも、以前はか

なり下だったんですけれども、今年はこの表記上は赤字ではありますが、差が随分縮んできました。大分県の点数自体が非常に下がっているのに、竹田市は、マイナスでありながら、ちょっと上の方と言うより、かなり上の方に上がってきました。ただ、赤字は赤字ですので喜んではいられませんので、何とかしたい。今課長が言った通りなんです。県教委の分析は、小学校からずっと英語に親しんでいるのに、小学校も中学校も振るわなかったという結果だったので、小学校の外国語活動が、「楽しむ」ということにまずに重点を置いていることを原因のひとつとしています。覚えるだとか、文法とか、そういったものは英語嫌いをつくらないようにするために、あまり重きを置いてなかったんですけれども、ちょっと見直そう、というか、基礎的なことも教えていく事が必要ではないかという方向に流れていくのではないかと思います。竹田の地域性から考えて英語を使う機会が少ないというのがありますが、いろんな機会をとらえて更に差を縮めて、全国平均よりは上を行きたいと思っています。全国の中には、非常に突出した所もあります。そういったところは、はっきり言って思い切った策、例えば、ALTが各校に1人いるとか、英語のコマ数自体が多いとか、ちょっと真似できない部分があります。ただ、竹田市のできる範囲、状況の中で、寄付金をいただいたりしていますので、それを活用したりもしています。これからの英語教育についてさらに充実させていく必要があると考えています。

あとですね、県、それから全国の学力調査の分析、これは英語に関わらず、今自分もいろいろ調べているところなんですけれども、英語も数学も国語も似たような傾向があるんです。表現力、つまり自分の考えを書きましょう、といったことはどの学校でも、一生懸命指導してきたわけなんですけれども、自分の体験とか、自分自身が納得しているようなこと、簡単に言うと独りよがりの表現力とでも言うのか、そういった事柄を解答として書いている。いろいろなことを表現してはいるけれど、正解にならない傾向が強い。文章を読み取って、その読み取った中から根拠を得て、考えられることを表現をするとか、それからデータやグラフ、表などのいわゆる非連続テキストをちゃんと解析して、読み取って、そこから根拠を持ったことを述べる。そういった力が欠けているというようなことが分析として出されています。ですから表現力については、もう一段落、ワンステージ、各教科を上げていかなければならない、と思っています。また、詳しいことは通信等に書きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。以上です。

他にないでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

それでは、最後に、教育委員からご意見、感想等があればご発言いただきたいと思います。佐藤委員からお願いします。

佐藤委員

はい。私からは2点です。

1点目が、スクールバスの安全管理と、運行管理についてです。今年の6月に県立の特別支援学校で、スクールバスの車内に1人置き去りにされたという事案がありました。多分竹田市のスクールバスは、そういうことの対策はされていると思うのですが、今一度、もしかしたら、前にご説明いただいたかもしれませんが、今の防止するシステムというのがどういうふうになっているのかち

よっとお聞かせ願いたいと思います。それと、運行管理なんですけど、普通、人や物を輸送する運送業者さんとかでしたら、始業前の点検、それから点呼に始まり、就業時の点呼に終わる、日報の提出というふうな感じになっております。スクールバスは、緑ナンバーではないので、そこまではしなくてもと言われればそれまでかもしれないんですけども、何かあったときのために、やっぱりいろんな記録を残すとか、そういうことはしておいたほうがいいんじゃないかなというふうに思っております。先日の熊本地震の際にも、時間体は違ったかもしれませんが、子どものスクールバスが巻き込まれる可能性もやっぱりありますので、そういう面も安全の管理とか、今一度、もう確認しておいたほうがいいのではないかなと思っております。質問とすれば、今のシステムがどうなっているかというのをちょっとお聞かせ願いたいと思います。

それと2点目ですが、昨日ですか、教育講演会が行われたと思います。自分の子どもが中学生までは、行けるときには毎年参加をさせていただいていたんですけども、これは要望ではあるんですけども、もし参加可能であれば、教育後援会の方へ参加させていただきたいなと思います。もしそれが可能であれば、ご案内がいただければなというふうに思っております。私からは以上です。

志賀教育長

進委員をお願いします。

進委員

私からは3点をお願いします。

まず、部活動の地域展開についてなんですけど、今年中学校の県大会が無事に終わって、また先ほど渡部課長からも、野球と平日の対応も、地域展開で行えるということで軌道に乗りつつあるのかなと思います。そんな中で、指導者さんが、やっていく中で、困りや悩み等を抱えてくると思うんですね。特に事例があるわけではないんですけど、保護者さんとの関係性とか、悩みが出たときに、サポートできる、今もしてくださっていると思うんですけど、悩みを伝えることができ、サポートしていただけたらと思います。指導者さん、自分の生活がある中で指導してくださっているの、あまりこう、負荷にならないように、そんなサポートをお願いできたらなあと思います。

2点目ですが、昨日、荻町の人権の協議会の総会に参加したんですけど、原田先生からお話をいただいて、部落差別のお話と、あと、それに関わってネットのリテラシーのところのお話があって大変勉強になりました。大人の私でも情報の取捨選択ができていたのかなということをとっても考えさせられて、まず大人がそういうネットからの情報をうのみにせず、取捨選択できることが大切だなあと、子どものネットを云々いうよりも、まず自分が学ばなければならないなと思ったので、この原田先生のお話などを、たくさんの場面でたくさんの人に聞いていただけたらいいなというふうに感じました。

あともう1点が、教育長通信にありましたが、岡城のフェイスブックやインスタなんですけど、本当に私も毎回、素晴らしいなと思って見させていただいています。すごい写真の迫力で、私もあれを広めたくて頑張っているんですけど、何分友達が少ないので、広まらないんですけど、友達の友達に伝わっていくように頑張ってお広めしたいと思います。以上です。

志賀教育長

吉野委員をお願いします。

吉野委員

はい。2点あります。お願いします。

7月23日に、社会福祉協議会の関係で、評議員の合同研修会というのに参加してきました。その中で私はちょっと午前中の説明を聞く時間体でちょっと参加できなかったんですけど、午後の各施設を見学して回るところに参加ができました。その中で、社協の支所であったり、分署であったり、また管轄の中の子ども園や、保育所を見学させてもらいました。本当にどこも、職員さんが一生懸命揺りかごから墓場までというか本当にたくさんの方のお世話をしてくださっていて、私は、特に保育所と子ども園のところでは、幼児教育の架け橋プログラムとかの関連もありますので、どういう内容で運営されているのかというのは興味深く拝見させていただいたんですけど、1つびっくりしたところがありまして、荻元気子ども園だったんですけど、外国籍の方が、多くなっているんですね、どこの国からいらしたかというのも結構ばらつきがあるっていうのを、初めて知ったんですけど、直入の方でもちょっと今まで聞いたことがない国の方の転入があったりしたので、以前もどこか竹田市内の小学校で語学、生活の中で必要な日本語の指導が別の支援としているケースがあったというお話はありましたので、こういう就学前の子どもさんで、外国籍の方が増えてくるということは、やっぱり小学校の入学も見据えて準備が要るのかなあと思っています。その点少し質問をしてみたところ、子どもさんの方は日常生活に支障がないぐらい日本語ができたり、それに加えて母国語と英語ができたりという方が多いようだったので、またそのまたしゃべるまでも行かないような、乳児さんだったりもしたので、この辺がまた今から様子を見ていかないといけないのかなというところと、またもし、もっと手助けがいるというよりは、子どもと交流を持ってもらって、周りの子たちの英語力の向上にも何かこう、相乗効果があるような活動に繋がっていけたらいいのかなというふうに感じたところです。

それが1つと、あと夏休み中に、小学校でプール開放があっているのを、7月いっぱいちょっと見学したりする機会があったんですけど、市内全体的に、どれぐらいプール開放ができたのかなとか、授業の中での水泳の授業がどれぐらい充実してできたのかなというところが、先月お聞きしたらよかったんですけどちょっと気になってまして、何時間ぐらいできたかとか、何人ぐらい参加したかとかも私が聞いてもその充実度というのはわからないんですけど、実際指導にあたっていらっしゃる先生方が、どう感じておられるか、これからどうするべきと思われているかというのはちょっと他県でもその、学校で指導ができなかったり、水温が高くて使えなかったり、監視ができなくて開放ができなかったりとかいうケースがあることと、また同時にバスを貸し切って、一般のスイミングスクールに授業のときに出向いていくとかいう話も聞いたりもしたので、これからどういうふうになっていくのかなというところは関心を持っておりますので何か、お話がありましたら聞きたいところだなと思っております。以上です。

志賀教育長

岡委員をお願いします。

岡委員

はい。私の方からは先ほどあった行政の評価シートに関連して1点思うところを述べます。学校教育分野で、おそらく個人的には今後竹田市の目玉になる取り組みは、33ページに書いている作業療法士などの専門家派遣による多職種連携、そしてその完成版じゃないかなと思っています。他にも取り組んでいる自治体はあると思いますが、ここまでシステマチックに実施しているところは少

ないと思いますし、今の時代に一番求められる取り組みかなと思いました。なぜそう感じたかという、先日読売新聞に、デジタル先進国ノルウェーの教育相、日本でいう文部科学大臣にあたるノルトンという方の講演記事が掲載されていて、1980年代から長年進めてきた教育のデジタル化を見直して、紙教材を重視する方針を打ち出したということです。日本も令和12年からデジタル教科書が本格的に入って、竹田市もハイブリッドな方向でいくということですが、今回の話は、デジタルか紙か、という二項対立的な話ではありません。ノルウェーの教育相もデジタルの可能性は十分認めるけども、何をいつ導入するかということについてはとても慎重じゃないとだめだと。今、ノルウェーの若者の間で、忍耐力と集中力に関して深刻な危機が起きていると警鐘をならされています。さらにデジタルというのは、幼少期から小学校4年生においては特に慎重に使うべきだということで、最初の学校生活ではとにかく友達と遊んだり、社会性を身につけること、先生と信頼関係を築いて、読み書きそろばんを学ぶことだというようなことが書いていました。私なりになぜ小学校4年生なのかというのを調べてみたんですけど、これは科学的に人間の脳は4年生、つまり大体10歳ぐらいまでに、リアルな体験を通じて神経ネットワークのOSというか土台が爆発的に作り上げられるということで、その時、論理的に考えたり客観的なメタ認知というものが急速に発達してくるということなんですね。これを読んで、今竹田市が推進している他職種の専門家の導入や遊びの森、コグトレやSST、また外でやるサップなんかもそうだと思いますし、世界的に誇れる音楽文化の中で発表する機会も豊富だとかですね、もうとにかくそういった取り組みこそが、その土台を作るのに大きく貢献しているんだと思いました。その頃までの間にしっかり脳の土台を作れた子どもというのは、デジタルと接したときに、おそらく便利な道具としてデジタルを見れるんだと思うんですけど、逆にそれがなくなままデジタル漬けになっている子って誘惑に負けて、だらだらと動画を見たりゲームしたり依存状態になりやすいんだというようなことを書いているものもありました。私たちが、小さい頃当たり前だった環境を、今は意識的に作ってあげないといけない時代になっていまして、竹田市の取り組みはそれを強力に補完できるなと思っていますので、さらに質を高めて、広く浸透させていっていただけると、子育て世代にとって、子育てする場所を決める際の決め手の1つになるかなとも思って、大いに期待しています。以上です。

志賀教育長

皆さんありがとうございました。

それでは質問については、まず、スクールバスのシステムについて、取り残され等の対策、それからドライバーの運行管理等について、以上、教育総務課。学校教育課には、部活動の地域展開に伴う指導者のサポートについて。それから、これは今提示できるものがあればということですけど、外国籍、竹田市でもあります。日本語指導等について。それから、夏休みプール開放、或いは1学期までの水泳の授業について、どういう具合だったかと。そういったところを答えられる範囲でお願いします。

まず、教育総務課から。

廣瀬教育総務課長

はい。スクールバスにつきましては、タクシー協会の方に委託をして運行しております。安全運行のためということで、今年の6月に、グランツの方で、これは協会の方が主催で、運転手の皆さんの安全運転の講習ということを実施を

しております。この会の方につきましては教育長、それから教育総務課の担当も出席をしまして、安全運転について呼びかけているところであります。ご質問のありました、システムにつきましては、本年度システムが更新をされております。顔認証から2次元QRのコードということで、それぞれカードを持ちながら、乗り降りの際にかざすということであります。システムの中では、かざすと人数がカウントされていきますので、降りるときにきちんと、それをまた再度かざすということで置き去りということは、ないようなシステムが構築をされているという今状況であります。以上です。

志賀教育長

学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。まずは部活動について、指導者の方の悩み等についてですが、現在はもう立ち上げの時期ですので、もうほぼ毎日、担当の指導主事の方が指導者とは連絡を取っています。それは、クラブの運営についてとか、会計処理について、メインになるんですが、そういう繋がりがあれば、もう悩み等も、こちらに集まってきますので、その都度対応ができるかなと思っています。大きな部分で言うと、年最低2回は研修会を行いますので、そういう対応についてとかも含めて、また研修の題材にしていきたいなと思っています。続いて日本語指導についてですが、以前から、竹田市の方でも、日本語指導が必要なお子さんがいらっしゃいましたので、その時は、県費で、そういう教員の枠があったりしました。ところが、この1、2年は、もう4月の段階過ぎて途中からお願いしようと思ってももう、枠がありませんということで、もう県下で4月の段階でパッと埋まってしまう状況です。となったときに、本当に必要な場合は、市の単費で賄わないといけないんですが、なかなかそこも予算付けというのが難しいところで、今現在も実は1人分悩んでいるところなんです。が、できるだけ子どものために、付けられるものは付けたいなと。ただ、いつも言っていますが、枠があっても人がいるかどうかというのも、本当に週何時間の働きになりますので、本当ボランティアみたいな形になりますので、その辺も含めて、今後検討していきたいなと思っています。もし、情報があれば教えてください。

志賀教育長

他はよかったですかね。
佐藤委員から出されました教育後援会のご案内。

渡部学校教育課長

教育講演会は、竹田市教委、校長会、教頭会、学校の先生、そして、市P連の方でも、共催ということで行っておりますので、PTA以外の一般の方も、そういうところから呼びかけして、もうこちらとしてはいっぱい来て欲しいというのが狙いですので、広報の仕方を考えていきたいなと。今まではそういうPTAとかだけで、会場を埋めることができたんですけど、なかなかそういう時代ではありませんので、今の提案を受けて、来年度、生かしていきたいなと思っています。もし、教育委員さんの方でのご案内がなくても、どんどん、参加をお願いします。

志賀教育長

教振事務局からご案内が行くように。

佐藤委員

はい。

志賀教育長

そのようにしたいと思っています。それから岡委員から出されました、脳の土台をつくる、実体験に基づくような、そういった活動をちょうどいい年齢の時までにできないものかということです。作業療法士の例をとって、感想、意見を言っていただきました。非常に大事なことなので、机上だけの作業に終わることなく、実践的なものであるようにしていきたいというふうに考えているところです。

今、みなさんのお話を聞きながら、つい最近聞いた話で思い出したことがあります。お笑い芸人の話です。ベテラン勢は舞台に立っていた。そこで汗を流していた。しかし、今の若手の芸人は、外に出なくても、自宅にしながら Y o u T u b e など結構な金を稼ぐことができる。だから外に出ない。舞台に立つよりも、外に出ることなく稼ぐ人が増えている。ある意味そういう嘆きなんです。お金を稼ぐということに観点を絞ってみればいいかもしれませんが、やはり何か、我々世代から考えると、ちょっと嘆きたくなるようなことではあります。健康的でもあるし、実体験というのを大事にしていきたいというふうに思っています。

その他、皆さんからないでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

それではないようですので、議題第 42 号「令和 9 年度使用教科用図書の採択について」の審議を非公開で行いたいと思います。関係者以外の退出をお願いします。

<閉会>

[閉会時刻:午後 4 時 32 分]